



# 隆 実川たかし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 成田空港の機能強化で提言

### 2月県議会一般質問に登壇



壇上から地域振興を訴える実川県議

成田空港建設の過去の歴史を振り返れば、地域の理解と協力なしに、今回の機能強化の検討を進めることが大変困難であることは明白です。これまでの住民説明会を受けて、騒音下住民団体から知事あてに要望が出されたと聞いていますが、県としてどのように対応していくのか。

**森田知事** 先月、騒音下に暮らす住民の代表の方々から、離着陸時間帯の拡大に対する再検討、航空機落下物に関する抜本的な対策、地域の発展が実感できるような地域づくりなどについて、直接要望をお聞きしたところです。

県では、住民の皆様の生活環境への懸念について、一層丁寧な、誠意を持って対応するよう国・空港会社に対して求めていくとともに、国や空港会社と連携し、空港周辺の地域づくりに県としてしっかりと取り組んでまいりたいと考えています。先月、要望をお聞きした際にも、私から住民の代表の方々へその旨お答えしました。

### 地域振興策

**実川議員** 住民の生活環境に配慮した環境対策を進めることは当然ですが、これに加え、空港が近くにあつてよかつたと住民が実感できる具体的な振興策を示さなければ、地域住民の理解を得ることは大変難しいと思います。

地域の理解を得るには、横芝光町をはじめとした空港周辺の地域づくりの検討が不可欠と思うがどうか。

**森田知事** 県としても、周辺地域の将来像を示していくことは、重要と考えています。このため、県では本年4月、総合企画部内に地域づくりの検討を行う担当班を新設し、空港の機能強化の効果を周辺地域に波及させるための検討に重点

### 要望

成田空港の機能強化を着実に進めるには、生活環境に大きな影響を受ける地域の住民への丁寧な説明とその理解を得ることが大変重要です。そこで、空港周辺に暮らす地域住民の生活環境への悪化を懸念する声を踏まえ、特に夜間飛行制限の緩和について再検討を図るよう、国と空港会社に求めて

いただきたいと思います。また、県も地域づくりのため組織体制の強化を図ることとしますが、空港周辺に暮らす地域住民が、空港が近くにあつてよかつたと思えるよう、社会基盤の整備や均衡ある地域づくりの検討に、事業者である空港会社や国が主体的に関わっていくよう、強く働きかけたいことを要望します。

### 農地集積の課題

**実川議員** 昨年の米作りは、秋の長雨の影響で収穫作業が困難な水田が多く、私の地元でも今まで水田を借りていた担い手からは、条件の悪い農地はもう返したい

という声も出ていました。私は、条件の悪い農地は誰も耕作しませんが、荒廃が進んでしまつたのではないかと心配しています。担い手は、生産性や作業効率のよい農地を求めており、今後、農地の耕作条件改善への要望は、ますます高まるのではないかと考えています。

## 飛行制限緩和の再検討を！ 周辺の地域づくり不可欠

私は、是非とも農地中間管理機構が、こうした要望に対応できるように体制を強化すべきと考えています。そこで、県は農地中間管理

●山武郡や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

**実川たかし 県事務所**  
 〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515  
 TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799

機構の体制強化について、どう考えているのか伺います。  
**農林水産部長** 県は来年度から、ほ場整備に精通した職員等を増員し、地域や担い手のニーズをしっかりと把握した上で、農地の耕作条件の改善や耕作放棄地の再生などに積極的に取り組めるよう、機構の体制を強化し、担い手への農地集積の加速化を図ってまいります。

**実川議員** 県産農林水産物の輸出拡大のため、新たな輸出国の開拓に向け、どのように取り組んでいるのか。

**農林水産部長** 昨年、初めてシンガポールの高級百貨店で県産農水産物フェアを開催したところ、現地での高評価を得て、輸出拡大に手応えを感じたところです。今後とも国やジェトロと連携し、海外市場のニーズの把握やフェアによる需要掘り起こしに努め、新たな販路開拓に取り組んでまいります。

# 銚子連絡道

# 用地取得は面積で約5割

# 地域のインフラ整備を要望!

## 銚子連絡道路

実川議員 銚子連絡道路は、山武市を起点とし、銚子市に至る延長約30キロの地域高規格道路であり、沿線地域の交通混雑の緩和や物流の効率化、救急医療の支援、観光振興などに大きな効果が期待されるとともに、災害時における緊急輸送道路としても機能する、大変重要な道路です。

また、圏央道と接続し、広域的な交流連携により、地域の発展につながることから、地元の期待も大きく、早期完成が求められています。銚子連絡道路二期区間の進捗状況はどうか。

国土整備部長 銚子連絡道路二期は、広域的な幹線道路ネットワークを形成する地域高規格道路であり、圏央道の松尾横芝インターチェンジへのアクセス向上や国道126号の交通混雑の緩和を図るため、横芝光町から匝瑳市に至る延長5キロの整備を進めています。用地取得の進捗状況は、面積ベースで約5割となっております。これまで調整に期間を要した地区でも、今年度、事業に対する理解が概ねいたされたことから、用地交渉に向けた測量などを行っているところとです。

また、まとまった用地が確保できている横芝光町や匝瑳市八日市場地区などで、地盤改良や盛土などの工事を実施しています。

## 県道飯岡二宮線

実川議員 県道飯岡二宮線は、一連のバイパスとして整備が進んでいるところですが、バイパスは全線が繋がってこそ本来の機能が発揮されることとなりますので、作田川や木戸川を渡る橋梁と現道接続部の整備が急務だと考えます。

そこで伺います。県道飯岡二宮線バイパスの進捗状況はどうか。

国土整備部長 県道飯岡二宮線の二宮町から横芝光町までの間は、幅員が狭く歩道もないことから、順次、バイパス整備を進めてきたところであり、現在、九十九里町小関、山武市小松、横芝光町屋形の3地区で事業実施しています。

このうち、小関地区では、作田川に架かる橋梁の計画について、地元と調整を図っており、小松地区では、木戸川に架かる橋梁整備に必要な

## 自席から再質問に立つ実川議員



## 八日市場八街線

実川議員 県道八日市場八街線の芝山町文化センター入り口交差点の改良について、進捗状況はどうか。

国土整備部長 芝山町文化センター入り口交差点は、用地の取得に努めています。また、屋形地区ではこれまでに、面積ベースで9割を超える用地を取得したところであり、まとまった用地を確保させていただいた箇所から工事を実施しています。

## 一刻も早く津波対策

実川議員 東日本大震災の津波で、九十九里沿岸が甚大な被害を受けてから、早くも6年が経過しようとしています。県民の安全・安心を守るためにも、津波対策を一刻も早く完成させることが、最も重要であることは言うまでもありません。九十九里沿岸の河川、海岸について、津波対策の進捗状況と今後の見通しはどうか。

国土整備部長 海岸の津波対策では、今年度末までに対策区間27キロのうち、特に津波被害が大きかった

圏央道の松尾横芝インターチェンジと成田空港を結ぶ、県道成田松尾線との主要交差点であり、交通量が多く渋滞が発生しています。このため県では、歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、平成27年度から交差点改良を進めているところであり、これまでに交差点設計や用地測量等を実施し、来年度から用地買収に着手する予定です。

今後とも地元のご理解、ご協力をいただきながら、渋滞の解消に向け、事業の推進に努めてまいります。

河川の津波対策については、対策が必要な7河川22.6キロのうち、平成27年度に栗山川が完成しており、今年度末には新川、木戸川を含めた16.6キロが完成する予定です。

引き続き残る区間についても、平成30年度までの完成を目標に津波対策を推進してまいります。

## 小中学校の統合

実川議員 公立小中学校の統合について、県教育委員会はどのように考えているのか。

内藤教育長 法令では、小中学校の学級数は、12学級から18学級が標準とされていますが、地域の実態等にに応じて、設置者である市町村が判断できるものとなっております。

県教育委員会としては、

各市町村が国の手引きの内容を踏まえながら、子どもたちへの教育をより良いものとするを最優先に考えて、判断していただきたいと考えています。

## 千葉港の自動車貨物

実川議員 千葉港長期構想の中で、自動車関連貨物について、どのように対応していくことになっているのか。

国土整備部長 自動車関連貨物は、過去10年間堅調に増加していることから、将来的にも取扱量は増加するものと推計し、コンテナ貨物、鉄鋼などの在来貨物と

並んで、千葉港の公共ふ頭を支える主要な取扱貨物として捉えているところです。

長期構想の施策では、土地利用の転換やふ頭の再編により保管用地を確保し、船舶の大型化については、岸壁の延伸や増深など、社会情勢を考慮しながら対応することとしています。



森田知事ら県執行部を前に質問する実川議員